



山崎の本家門前屋 国登録有形文化財に

<p style="text-align: center;">概 要</p>	<p>国の文化審議会が令和6年3月15日、山崎町山崎の「前野家住宅（本家門前屋）店舗兼主屋・土蔵・西蔵」を国の登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学相に答申する予定です。</p> <p>報道解禁日時 令和6年3月15日17時</p> <p>答申された登録候補物件（3件1箇所）</p> <p>名 称 前野家住宅（本家門前屋）店舗兼主屋・土蔵・西蔵</p> <p>所在地 宍粟市山崎町山崎字西新町50番地7他</p> <p>建設年代 主屋・土蔵 江戸時代末／西蔵 大正9年（1920年）</p> <p>特徴等</p> <p>本家門前屋は、西町の酒蔵通りに北面しかつて酒造業を営んだ商家で、主屋は厨子二階建て、入母屋造平入、棧瓦葺き、外壁は漆喰塗、内部は東西に土間、居室を並べ南西隅に床、違い棚、書院を備えた座敷があります。長大な間口で出桁の持送が並ぶ賑やかな外観の町家です。主屋西隣の土蔵は、道具蔵で二階建て、切妻造平入、棧瓦葺き、外壁は漆喰塗で腰は縦板張り、内部は各階板敷の一室で、小屋は「へ」の字状の一材の登梁を用いており、主屋と一体の長大な間口の屋敷景観を形成しています。主屋南側の西蔵はもとの仕込蔵で二階建て、半切妻造、棧瓦葺きの南北棟で南側に戸口を開け、東側に木製スロープがあります。一階は土間、二階は一室の板敷で、中央南寄りに荷揚げ口があり、梁間が大きく長大な土蔵でかつての酒造業の繁栄を伝えています。</p> <p>城下町山崎の歴史的景観に寄与する貴重な建造物であり、宍粟市では2件目の国登録有形文化財です。主屋は平成22年に改修、現在は飲食店として活用され、山崎地区の観光振興などに寄与するものと期待されます。</p>
<p>参考資料</p>	
<p>問合せ先</p>	<p>所属 社会教育文化財課 TEL 0790-63-3117</p>



宍粟市山崎町山崎
前野家住宅（本家門前屋）
主屋外観



宍粟市山崎町山崎
前野家住宅（本家門前屋）
主屋内部座敷



宍粟市山崎町山崎
前野家住宅（本家門前屋）
土蔵外観



宍粟市山崎町山崎
前野家住宅（本家門前屋）
土蔵内部二階



宍粟市山崎町山崎
前野家住宅（本家門前屋）
西蔵外観



宍粟市山崎町山崎
前野家住宅（本家門前屋）
西蔵内部二階

